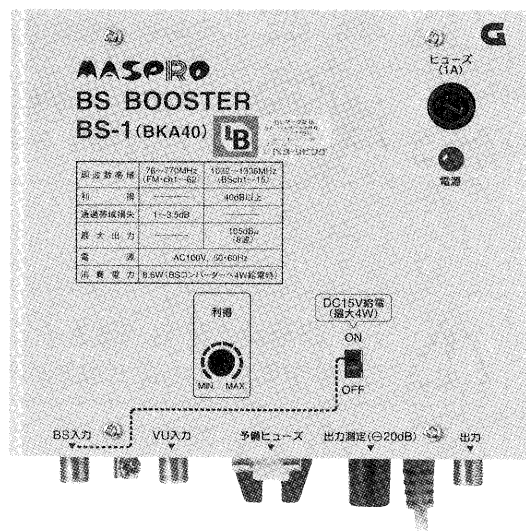
MASPRO

屋内用 BL型　BSブースター

BS BOOSTER
周波数帯域 1032～1336MHz（BS ch1～15） VU（76～770MHz）ミキサー内蔵
BS-1 (BKA40)
AC100V方式

大規模な中・高層共同住宅の共同受信に適した信頼性の高いBSブースターです。

優良住宅部品
テレビ共同受信機器

取扱説明書
施工説明書

MASter of PROduction
生産の覇者

目次

ページ

ＢＬ部品とは

（財）ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって，品質，性能，アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので，安心してご利用できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書・施工説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

安全上のご注意　ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

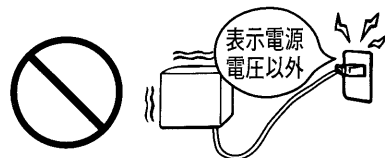
この『安全上のご注意』には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

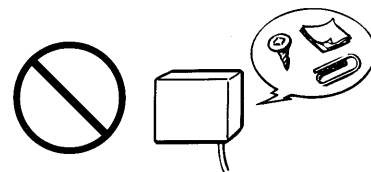
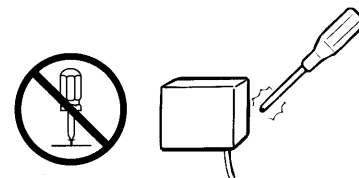
警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

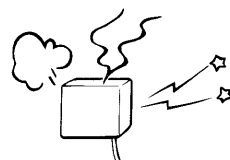
絵表示の例

	△ 記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
	⃠ 記号は，禁止の行為を示しています。図の中や近くに禁止内容（左図の場合，分解禁止）が描かれています。
	●記号は，行為を強制したり指示する内容を示しています。図の中に指示内容（左図の場合，AC プラグを AC コンセントから抜く）が描かれています。

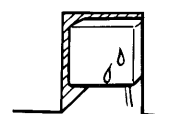
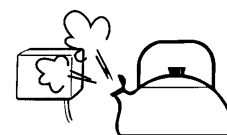
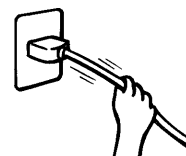
⚠ 警告

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近付けたりしないでください。電源コードが破損して，火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合（芯線の露出，断線など），販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●ブースターの内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

●ブースターのカバーを外したり，改造をしたりしないでください。また，ブースターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

●煙が出ている,変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると,火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き,症状が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また,テレビの画像が映らない,音声が出ないなどの症状があるときも,テレビと共にブースターのACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから,絶対におやめください。

●雷が鳴出したら,アンテナ線・ACプラグには触れないでください。
感電の原因となります。

⚠注意

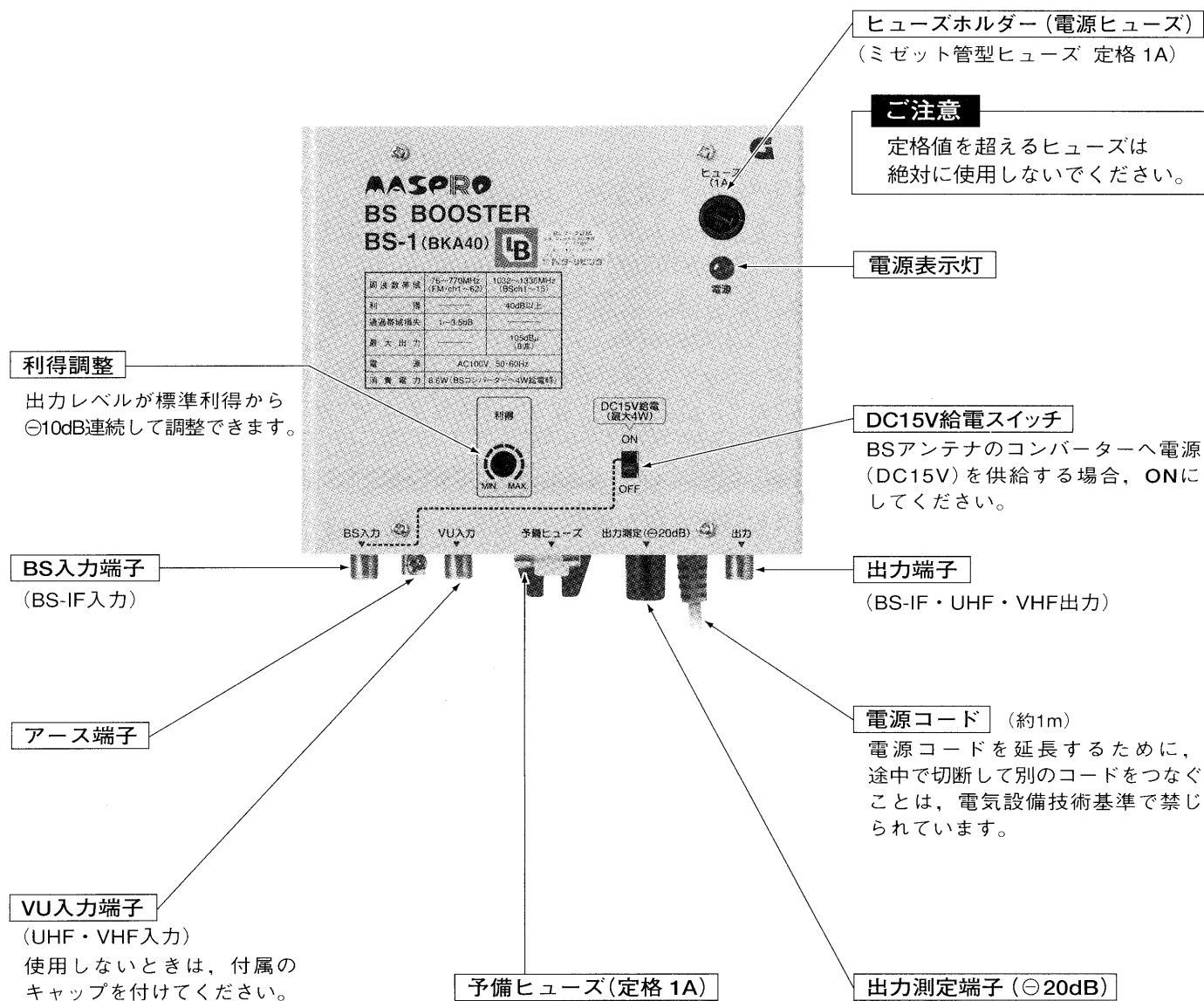
●ブースターは,風通しの悪いところで使用しないでください。
風通しを悪くすると内部に熱がこもり,火災の原因となることがあります。また,グラスウールのような断熱材の上に置いたり,包んだりしないでください。

●ブースターは,湿気やほこりの多い場所,調理台や加湿器のそばなど,油煙や湯気などが当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

●ACプラグをACコンセントから抜くときは,電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき,火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。

●濡れた手で,ACプラグを抜差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

●ACプラグは,ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミやホコリがたまり,火災の原因となることがあります。
また,ACプラグは,定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

●電源コードは,結んだり,束ねたりしたままで使用しないでください。
発熱して,火災の原因となることがあります。

取扱説明

各部の名称

ご注意
利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。
無理に回すとこわれることがあります。

特長

優れた温度特性

PINダイオードを使用した利得調整回路ですから，⊖10 ～⊕40°C の温度変化に対して，利得変動がほとんどなく，常に安定した動作をします。

コンバーター用電源内蔵

DC15Vの安定化電源を内蔵していますから，スイッチ操作でBSアンテナのコンバーターへ電源（DC15V 4W）を供給できます。

定電圧回路内蔵

電源電圧がAC90～110Vの間で変化しても，性能の変動はありません。

規格表

項目	規格
周波数帯域	1032～1336MHz（BS ch1～15）
最大伝送容量	8波
標準利得	40dB以上
利得調整範囲	0～⊖10dB（連続可変）
雑音指数	8dB以下
定格出力レベル	105dBμ
伝送帯域内周波数特性偏差	任意の27MHzで±1.0dB以内，全帯域で±2.5dB以内
相互変調	⊖55dB以下
利得安定度	±2.0dB以内（温度：⊖10～⊕40°C　電圧：AC100V±10V）
ハム変調	⊖60dB以下
入・出力インピーダンス	75Ω（F型コネクター）
電圧定在波比	2.5以下
耐衝撃波試験	15kV（1.2／50μs）のサージ電圧に耐えること
電源電圧（周波数）	AC100V（50・60Hz）
消費電力	8.6W（BSコンバーターへ4W給電時）
BSコンバーター用電源	DC15V±10%　4W
使用温度範囲	⊖10～⊕40°C
外観寸法	145（H）×152（W）×47（D）mm
質量（重量）	約700g
シンボル	⊐▷─
備考	避雷回路内蔵，定電圧回路内蔵，VU（76～770MHz）ミキサー内蔵

付属品

壁面取付金具……………………………1個
木ネジ（壁面取付用）……………………3本
キャップ…………………………………1個
予備ヒューズ（定格1A　本体に付属）…1本

施工説明

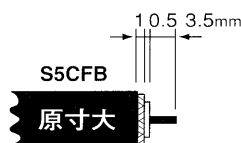
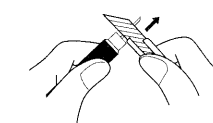
●関連法規

テレビ共同受信システム工事には，下記の法律が適用されます。

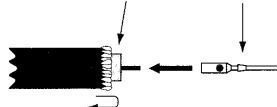
●有線電気通信法　●有線テレビジョン放送法

F型コネクター（C15FP5，C15FP7）の取付方法

●接触不良や，ショートを防ぐため，F型コネクターはていねいに取付けてください。
●BS帯域で性能が保証されているケーブルや機器を使用してください。
●F型コネクターは，使用するケーブルに適合する別売のC15形コネクター（**C15FP5**または**C15FP7**）を使用してください。

❶ケーブルの加工

（**S7CFB**も加工寸法は同じです。）

芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。

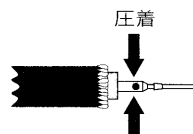
❷コンタクトピンのハンダ付け

●コンタクトピンを芯線にはめてください

あみ線（銅編組）を折返してください。

●のぞき孔から芯線が見えるのを確認してから，よく注意してハンダ付けしてください。

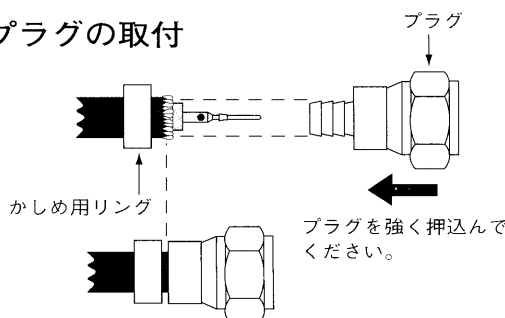
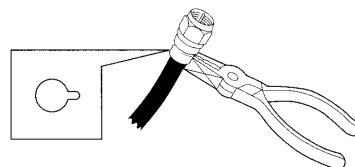
（40W以下のハンダごてを使用し，内部絶縁体が熱で変形しないよう手早くおこなってください。）

（ハンダ付けできない場合）

のぞき孔から芯線が見えるのを確認してから，圧着ペンチでコンタクトピンの根元を圧着してください。

コンタクトピンを前後に動かして，しっかり圧着されていることを確認してください。

ご注意

●必ず，専用の圧着ペンチを使用してください。
●圧着ペンチの2mmの穴径を使用して圧着してください。

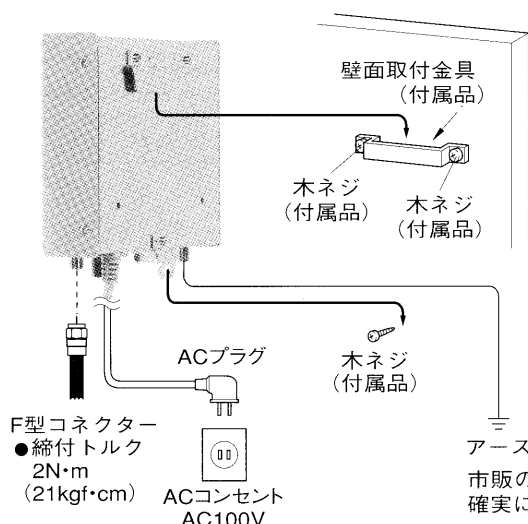
❸プラグの取付

❹かしめ用リングの圧着

取付方法

●機器収容箱（鉄製の場合）は，400（H）×400（W）×180（D）mm以上のものを使用してください。
●本器は，屋内設置専用です。雨水のかかる場所では防水型の機器収容箱に収納してください。

●機器収容箱にACコンセントを用意してください。
●電気配線と同じように，あらかじめ収容ボックスをアースしてください。

ご注意

●ACプラグは，共同受信の配線工事がすべて終了してから，ACコンセントに接続してください。

●ブースターは，内部温度上昇を防ぐため，風通しの悪い場所（天井裏・断熱材の上など）に設置しないでください。発熱して故障の原因となります。

ケーブルの接続

- BS入力端子に，BS入力用のケーブルを接続してください。
- VU入力端子にVU入力用のケーブルを接続してください。
- 出力端子に，VU，BS出力用のケーブルを接続してください。

実用入力レベルについて

ブースターを1台だけ使用するときの値です。

実用入力レベル	47dBμ 最小入力レベル	～	65(75)dBμ 最大入力レベル

●最小入力レベルは，入力信号のCN比が14dB，伝送路のCN比劣化量が0.1dBのときの値です。
●(　　)内は利得最小時の最大入力レベルです。

最小入力レベル以下で使用した場合

- スパークリーノイズ（BS受信時）またはモザイク状のノイズ（BSディジタル受信時）が目立つようになります。

最小入力レベルを確保する方法

①アンテナの仰角・方位角を正しく調整してください。
②高利得なアンテナに取換えてください。

最大入力レベル以上で使用した場合

- 相互変調によりノイズ状の障害が発生し画質が劣化します。

最大入力レベル以下にする方法

入力端子に別売のアッテネーター（**ATT1.5，3，6，10，15，20**）を使用して，最大入力レベル以下になるように調整してください。

出力レベルの調整

出力測定端子で出力レベルを測定してください。（測定値に20dBを加えた値が出力レベルです）

最大出力レベルは，105dBμ（8波）です

最大出力レベルを超えない範囲で希望のレベルに調整してください。最大出力レベルを超えている場合，利得調整で調整してください。

- 利得調整を(左)に回すと出力レベルを，10dB以上下げることができます。
- 利得調整を(左)にいっぱい回しても最大出力レベルを超えるときは，入力端子に別売のアッテネーター（**ATT1.5，3，6，10，15，20**）を使用してください。

出荷時の利得調整は標準利得に設定してあります

正しく使用していただくために

よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

（画像が出ない場合）

1. 電源 ―――――――――― 規定の電圧（AC90～110V）が供給されていますか。
2. DC15V給電スイッチ ―― 正しく操作してありますか。
3. 入・出力端子 ―――――― 入力と出力が逆に接続してありませんか。また，入力端子は正しく接続してありますか。
4. 利得調整 ――――――――― 利得が最大（㊨へいっぱいに回した状態）になっていますか。
5. ケーブル・コネクター ― 断線またはショートしていませんか。
   BS帯域の受信用および出力側には，BS用低損失75Ωケーブルを使用してください。
6. 入力レベルの測定 ――― 実用入力レベルの範囲になっていますか。

（画像にスパークリーノイズ（BS受信時），モザイク状のノイズが多い場合（BSディジタル受信時））

1. アンテナの方向 ――――― BSアンテナの方向がずれていませんか。画質が最も良好になるようにアンテナの方向を調整してください。
2. 入力レベルの測定 ――― 実用入力レベルの範囲になっていますか。
3. 妨害電波 ――――――――― レーダーの基地や空港の近くで受信すると，周期的に画像に妨害を受けることがあります。
   ●BSアンテナやブースターをレーダーの電波ビームから外れる低い位置か，建物の陰になるような場所に移動させてください。

保証について

MASter of PROduction
生産の覇者

無償修理規定

保証期間内に取扱説明書・施工説明書記載事項にしたがった正常な使用状態で故障した場合，当社支店・営業所までお申し付けください。

この製品の保証期間は，お引渡しの日から2年間とします。

保証期間内でも下記の場合，有償修理となります。

① 日本国以外で使用した場合の不具合。
② 住宅用途以外で使用した場合の不具合。
③ ユーザーが適切な使用，維持管理をおこなわなかったことに起因する不具合。
④ メーカーが定める施工説明書に基づかない施工，専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
⑤ 建築躯体の変更など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合，塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象。
⑥ 海岸付近，温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑦ ねずみ，昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑧ 火災・爆発事故，落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異または戦争，暴動などの破壊行為による不具合。
⑨ 消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑩ 電気の供給トラブルなどに起因する不具合。
⑪ 瑕疵に起因して，住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

●生産中止後の取換えパーツ（ヒューズ）の供給可能な期間は10年です。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町

営業部	TEL 名古屋	(052)802-2244
工事営業部	〃	(052)802-2225
技術相談	〃	(052)805-3366
インターネットホームページ		www.maspro.co.jp

支店・営業所

沖縄	(098)854-2768
鹿児島	(099)812-1200
宮崎	(0985)25-3877
熊本	(096)381-7626
長崎	(095)864-6001
福岡(支)	(092)531-3861
北九州	(093)941-4026
下関	(0832)55-1130
徳山	(0834)32-2954
広島	(082)230-2351
松江	(0852)21-5341
岡山	(086)252-5800
松山	(089)973-5656
高知	(088)882-0991
高松	(087)865-3666
姫路	(0792)34-6669
神戸	(078)843-3200
大阪(支)	(06)6635-2222
工事営業部	(06)6632-1144
京都	(075)646-3800
津	(059)234-0261
岐阜	(058)275-0805
名古屋(支)	(052)802-2233
工事営業部	(052)804-6262
豊橋	(0532)33-1500
静岡	(054)283-2220
松本	(0263)57-4625
福井	(0776)23-8153
金沢	(076)249-5301
新潟	(025)287-3155
横浜	(045)784-1422
渋谷(支)	(03)3409-5505
工事営業部	(03)3499-5631
秋葉原	(03)3255-7335
青戸	(03)3695-1811
八王子	(0426)37-1699
千葉	(043)232-5335
さいたま	(048)663-8000
前橋	(027)263-3767
水戸	(029)248-3870
宇都宮	(028)660-5008
郡山	(024)952-0095
仙台	(022)786-5060
盛岡	(019)641-1681
秋田	(018)862-7523
青森	(017)742-4227
函館	(0138)53-7355
札幌	(011)782-0711
釧路	(0154)23-8466
旭川	(0166)25-3111
北見	(0157)61-0480

JAN., 2003

2K55-125

N-18-4125-2L